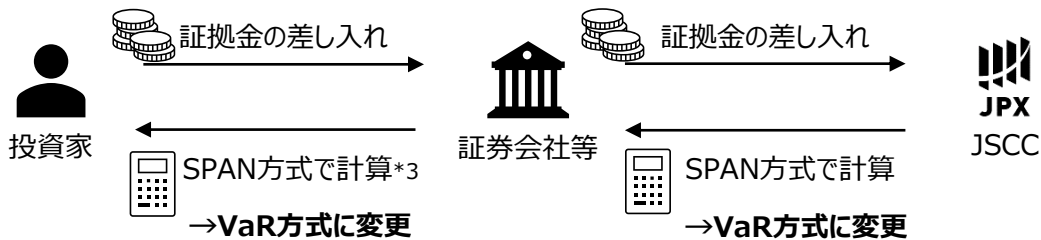


先物・オプションの取引証拠金の計算方法が変わります ～SPAN方式からVaR方式へ～



投資家の皆様が先物・オプション取引を行う際にご利用の証券会社や商品先物取引業者（以下「証券会社等」といいます。）に差し入れる証拠金額については、日本証券クリアリング機構（JSCC）が算出する証拠金所要額を基準に設定されておりますが、JSCCでは、証拠金の機能である“投資家を守る”ことを強化すべく、**2023年11月6日（月）**に、現行の「SPAN方式*1」から新証拠金計算方式である「VaR方式*2」へ変更を予定しています。

このため、投資家の皆様が差し入れる証拠金額についても、「SPAN方式」から「VaR方式」で算出された証拠金額を基準に設定されることとなります。「VaR方式」変更後に証券会社等が投資家に対して設定する証拠金の金額等の詳細については、今後、ご利用の証券会社等からのアナウンスをお待ちいただくようお願い申し上げます。



*1 SPAN方式は1988年に米国の取引所CMEが開発した、非常に単純化された16通りのシナリオにより証拠金を計算する方式です。

*2 VaR方式は、1250超の大量のデータを用いて必要となる証拠金を統計的に計算する方式です。

*3 JSCCが証券会社等に通知する証拠金所要額を踏まえ、証券会社等が個別に証拠金額の扱いを定めるものとなりますので、**JSCCが証券会社等に求める証拠金所要額と証券会社等が投資家の皆様に求める証拠金額は、異なる場合がございます。**

VaR方式になったら変わる点

変更点	現行（SPAN方式）	VaR方式	
		HS-VaR方式	AS-VaR方式
①売りと買いの証拠金額の違い	売りと買いで同じ金額	売りと買いで異なる金額	売りと買いで同じ金額
②限月ごとの証拠金額の違い	原則どの限月も同じ金額	限月により異なる金額	どの限月も同じ金額
③証拠金計算パラメーターの更新・公表頻度	毎週最終営業日 速報値17:00ごろ 確定値18:00ごろ	毎日*4 15:45～16:00ごろ	毎週最終営業日 17:00ごろ
④証拠金計算パラメーターの適用タイミング	公表翌週	公表当日	公表翌週
⑤証拠金参考用ファイルの掲載タイミング*5	—	毎日 16:15ごろ	
⑥対象商品	全商品	日経225、TOPIX、 JGB、電力、LNG等	貴金属、原油、 ゴム、農産物等

*4 AS-VaR方式の銘柄についても収録されます。

*5 参考情報として、先物・オプションの各銘柄を1枚売建て又は買建てた場合のVaR証拠金額を収録したファイルを当社ウェブサイトに掲載します。なお、複数銘柄を組み合わせたポジションに係るVaR証拠金額の計算に用いるBPFファイルは、現在のSPANリスクパラメーターファイルと同時に掲載予定です。

本資料に含まれる情報の利用に関し、日本証券クリアリング機構は一切責任を負いません。また、本資料に記載の事項に関し、将来予告なしに変更することがあります。本資料に関する著作権は日本証券クリアリング機構にあり、本資料の一部又は全部を無断で転用、複製することはできません。